

いきいき かんざき 市民発の地域づくり紹介



神崎市中央公民館で開いているおはなし会

【マザーグースの会】

「子どもを叱った時も、絵本を読んで聞かせているうちに、やさしい気持ちになれるんです」とメンバーの石橋恵美子さん。

未就園の幼児を対象に、毎月1回、神崎市中央公民館でのおはなし会や、千代田町保健センターで行われている市の子育て支援センター（ひだまりの

子ども達の笑顔に逢いたくて

会)で、絵本の読み聞かせなどを行っています。このほか、年に2回ほど、市立図書館の活動に参加しています。読み聞かせだけでなく、ゲームや折り紙などを交え、子どもの関心をそらさない工夫も。2月のおはなし会は開催日がちょうど節分。豆の代わりに、ちぎった新聞紙を丸めて、鬼の面をめがけて投げる子どもたちの表情は生き生きしていました。会の発足は6年前。子育て中の親の交流会「ほっぼらんど」で、他の読み聞かせグループのお話を聴いている子どもたちが目を輝かせて熱心に聴いているのを見て、「自分たちで絵本を読んでみよう」という声が上がリ、代表の塩川伸枝さんたち5人が会を立ち上げました。現在、活動しているのは8人。塩川さんの勤務の都合などもあり、石橋さんが会のまとめ役を引き受けています。初めて集まりに参加した母親は「親が楽しんでいきます。近所に小さな子がいないのでありがたい。また来ます」と話してくれました。「お母さん同士、仲良くなれるのがいいんです」と石橋さん。

自分の子の年齢が上がると、足が遠のきがちになるのが悩みですが二人でも多くの人が参加して、自分の大切な本と出会うってほしい」というのが願いだそうです。5月11日には神崎町保健センターで開催される「ほっぼらんど」の中で、おはなし会が開かれます。小さいお子さんがいらっしゃる方は、ぜひご参加ください。



「おにはそとー」元気に遊ぶ子どもたち

一人ひとりが生き生きと暮らす元気な神崎を。市民の立場で、住みよいふるさとづくりに取り組んでいる団体をシリーズで紹介していきます。

会の名称は母親の集まりという意味と、英国の伝統的童謡の総称やその作家を指す「マザー・グース」にあやかりました。会では、一緒に活動される人を募っています。子どもたちに、絵本の楽しさを伝えてみませんか。

「マザーグースの会」連絡先 石橋 TEL090 - 1197 - 8642



代表の塩川伸枝さん

